

ともにいのちかがやく世界へ

大悲

元本願寺派総長
蓮 清 典 師
題字

(第61号)
2018. 9. 1

昌 平 寺
昌平寺門信徒会

〒359-0036 所沢市旭町22-8 電話 (04) 2994-8887



昌平寺本堂 預骨室 盂蘭盆会

平成三十年度 昌平寺行事御案内

一、秋季彼岸会

9月23日(祝・日)
勤行 午後2時
法話 午後3時
西芳寺副住職
本願寺派布教使
園淵和貴師

二、開基住職小畑俊哲忌

11月2日(金)
勤行・法話 午後2時

三、報恩講速夜

12月1日(土)
法要・御絵伝 午後6時

四、報恩講

12月2日(日)
勤行 午後1時
法話 午後2時～3時
武蔵野大学名誉教授
山崎龍明師

五、成道会の集い

12月7日(金)
音楽礼拝・法話 午後6時
歓談・懇親会 午後7時～8時

六、修正会(元旦会)

1月1日(祝・火)
開門 午前7時
勤行 午前8時
勤行後、ご流盃の儀があります。
☆親鸞聖人月命日法要
毎月(15日)午後4時～同5時、
16日午前9時～同10時)

門信徒会總會法話

『仏さまはどこに?』〜大悲無倦常照我〜

浄土真宗本願寺派布教使 赤川 浄友



去年のお盆法要に続き、二回目のご縁です。赤川浄友です。ああ言えばジョーユー?ではなく、昌平寺さん開基ご住職さまのご友人、故花山勝友先生の弟子です。勝友先生が「浄友」とつけて下さいました。

さて、「仏さまはどこに?」いらつしやるのでしょうか?浄土真宗では、往相回向と還相回向と言つて二つの考え方がありません。私たち凡夫が阿弥陀さまのお浄土に往生させていたたくのを「往相」といい、その方が往生成仏されて、今度は、迷いの

この世に仏として戻つて来られる、その用きを「還相」というのです。二十五年くらい前、都内のある大谷派の寺院で、あのクレージーキャッツの植木等さんの講演を聞きました。植木さんは、大谷派の寺院出身です。大変面白く、かつ真面目な講演

いや、法話でありました。父親は、植木徹誠という、もちろん住職さんですが、大変な社会的正義感の強い住職で反戦・平和主義者でした。そして、講演の最後でそのお父さまの説法のお話をされました。お父さまは、少年時代の植木等さんを寺の本堂阿弥陀さまの前に連れて行き、須弥壇のご本尊のところのぼらせて「それは何だ」と聞く。「阿弥陀さんです」と答えると「違う」という。同じ質問と答えを繰り返し、等さんの方から

「じゃ、なんですか?」と思いつつ聞き返すと「叩いてみる」という。遠慮勝ちに叩き「阿弥陀さんです」とまた答えると「違う。それは木だ!」(笑)

「金ピカだけれども中は木だ。こんなものを拝んでもどうにかなると思つたら大間違いだぞ」「用きを拝んでいるのだ」と説法したという。得度してまだ間がない私は、「植木さんつてすごい」と感動したのを覚えています。

そうなのです。「還相」の用きが仏さまの場所になります。つまり、「往相」としてのお浄土が「俱会一処二蓮托生」の世界で仏さまは待つていてくださるのです。もう一つは、「千の風」のようにいつも私のそばで「私はここに」「身の程知れよ」「目覚めよ」と用いて下さっているのです。お正信偈には、「大悲無倦常照我」と親鸞聖人はお示しです。阿弥陀さまは無量光仏であり、いわば星や太陽のようにいつもこの私を照らし

てくださっているのです。人生の旅路のふるさと「お浄土」といつもそばにいて下さるといふ二つの考え方です。

最後に、『夕焼け小焼け』を皆さまで大きな声で歌つて終わりにしましょう。この歌の一番は、まさに「往相」としての往生浄土、往生成仏を指していて、人生の旅路の還る家、ふるさとは、二番は、「還相」としての言わば「千の風」でありいつもこの私を照らして下さつていて、いつもそばにいて下さるのだと、私は味わつています。

「夕焼け小焼け」

(詩・中村雨紅 曲・草川 信)

一、夕焼け小焼けで 日が暮れて

山のお寺の 鐘が鳴る

お手手つないで みな帰ろう

鳥といっしょに 帰りましょう

二、子供が帰った 後からは

円い大きな お月さま

小鳥が夢を 見るころは

空にはきらきら 金の星

第二十三回 昌平寺門信徒会定期総会開催

去る六月三日、第二十三回昌平寺定期総会が開催されました。総会に先立ち、本願寺布教師赤川淨友師から基調講演を頂きました。

総会は、
会員総数 九八九名
出席者数 七二名
委任状数 五〇一名
合計 五七三名

規約第十二条第八項の「会員数の二分の一以上」を満たし、司会の津賀副会長から成立宣言がありました。

議事は、関原茂氏を議長に選出し、平成二十九年度事業報告、会計報告、監査報告および平成三十年度事業計画案、会計予算案が提案され賛成多数で承認されました。この中で、これまで「特別会計」として基金を積み立てておりましたが、一般会計として処理すべきというご指摘

を頂きましたので、平成三十年度予算案から「特別予算」の項目を廃しました。

会長人事の提案があり、浅上勝敏会長から辞任の申し出があり、後任に縄田脩氏が承認されました。

以上で議事は終わり、任職挨拶、新旧会長挨拶に続き、新会

昌平寺門信徒会役員

会長	縄田 脩
副会長	浅上 勝敏
会計	津賀 憲子
総務	香山 栄爾
"	小山 鶴子
"	池田 新八郎
"	佐藤 智子
会計監査	嶋津 正隆
"	磯野 日出夫
相談役	遠山 久敬
"	小畑 よし
"	根神 泰淳
"	植原 豊彦
"	関原 茂
"	浅上 勝敏

長から新しい役員人事の紹介がありました。その中で、浅上前会長には、お願いして副会長として引き続き役員の一員としてお力添えいただくこととなりました。

最後に恩徳讃を合唱し、門信徒会総会を終了しました。

ご案内

昌平寺開基住職

小畑俊哲忌法要

開基住職小畑俊哲忌法要を昌平寺本堂において謹んで厳修いたします。

平成三十年十一月二日(金)

一、午後二時より勤行

一、統一のお話

皆様方共々にご参拝いただきませう、お念じ申し上げます。

尚、本法要、ご参拝に際して、

ご香典、献花、ご供物等一切固くご辞退申し上げます。

合掌

昌平寺

定例法話会・茶話会

第三火曜日

十時〜十二時

講師は昌平寺僧侶、他講師

①一月・七月・八月・十二月は休会と致します

茶話会は、午後一時から二時まで和室で行います

書写(写経)の会

一月・七月・八月・十二月
第三火曜日

(法話会の休会月)

十時〜十二時

講師 香月瓔石

場所 昌平寺一階和室
椅子席

正信偈・讚仏偈・重誓偈・御文章

昌平寺門信徒会

会長を拝命して

縄田 脩



去る六月三日に開催されました第二三回昌平寺門信徒会総会において、浅上勝敏前会長から会長を引き継ぐこととなりました。

浅上前会長の就任された二年間は昌平寺・門信徒会にとつて非常に充実した二年間でした。

お寺では、内田住職代務から遠山住職に替わり、遠山住職補任式に浅上前会長は責任役員（または総代長）に代わって同席し無事その役目を遂げられ、また昌平寺三代目遠山住職の継職法要には門信徒会会長として

式典をサポートされました。

また、平成二十七年年度から始まった昌平寺門信徒会二〇周年記念事業の柱、「小畑開基住職胸像」建立、除幕式には総括責任者として、重責を全うされました。また、もう一つの柱である「門信徒会二十周年記念誌」上梓を滞りなく終えられました。この間の浅上前会長の並々ならぬご努力とご苦労にたいして、心から感謝と賞賛の意を表します。

前会長から総会に先立つて「疲れた」と言う言葉を伺い、暫く休養して頂く為に、適任ではございませんがやむを得ず急遽後任の会長をお引受けすることとなり、総会でご承認いただき、これから二年間会長として門信徒会をお預かりすることになりました。

私が、門信徒会に入会しましたのは、平成一三年暮れに父が亡くなり昌平寺でお世話になった時です。しかし、私は、子供の頃からひと所に長く住んだことがなく、「お婆ちゃんとお寺にご縁があった」とか「お寺の庭で遊んだ」という記憶はありません。あるとすれば、疎開した故郷でお盆のお詣りに町から僧侶が自転車であって、汗を拭き拭き仏壇の前でお経を上げ、御文章を読み、祖父母が南無阿弥陀仏と呟くのをそばで見っていたのが唯一お寺との接点で、お寺とのご縁は薄く、入会後も、武蔵野墓苑の盂蘭盆会、父母の法事の時以外、お寺にお参りに来ることはありませんでした。平成二十二年昌平寺俳句会（深見けん二主宰）に入会し、月一度お寺に来るようになりました。

平成二十五年、初めて一泊研修旅行に参加したのがご縁で、平成二十六年に門信徒会の役員となりそれから、「大悲」等を読み、「法話会」、諸行事での

法話を聴聞し、少しづつご縁が深まりつつあると言うのが私の現状です。

この様に、ご縁の薄かった私ではございますが、会長をお引受けした以上何か会員の皆様のお役に立ちたいと思っております。では、私に何が出来るか、何をしなければならぬかと考えた時、三代目会長岡屋忠利氏が言われた、「寺は縦糸、門信徒会は横糸」を思い、遠山住職が進められる昌平寺の護持発展に門信徒会としても精一杯協力していくこと、そして、門信徒会の発展のために新しいお仲間づくりを、お寺と力を合わせて進めることに取り組んでみたい。

会員の皆様のご協力と積極的なご指導ご鞭撻を期待しております。よろしくお願い致します。門信徒会事務所にもパソコンが入りました。会員の皆様も是非ご利用下さい。
(shoheijimonshintai2@gmail.com)

退任ご挨拶

昌平寺門信徒会前会長 浅上勝敏



先に行われた第二十三回定例総会において、門信徒会会長を退任させていただきました。

一期二年ではありましたが、その間、会員の皆様には当会運営に当り積極的なご協力を賜りましたことに対し衷心より御礼申し上げます。また、坊守様、御住職始めお寺の皆様からの温かいご支援、ご指導、ご鞭撻を賜り深く感謝申し上げます。

会員の高齢化と共に「南無阿弥陀仏」のお念仏の聞法にお越し下さる方が年々少なくなつて参りました。これも体力に関わることで致し方ないことではあ

りませんが、同様に会員の方も減少傾向に歯止めが掛からず任期中に千名を割り込んでしまいました。もとより能力不足ではありましたが、会員の減少傾向にある門信徒会を立て直すことが出来なかつたことは誠に心苦しく責任を感じている次第であります。

生活を取り巻く環境は刻一刻と変化し、人々の価値観も多様化し、社会全体が複雑化する中で、人々の悩みは深刻化している今だからこそ、阿弥陀様に願われた者同士がお互いに認め合い仏様の前で遠慮なく話が出来る場としての昌平寺及び門信徒会の意義は極めて大きいものがあると思えます。そこへいかにマッチングさせていくかがこれからの課題と思われまふ。

幸いにして縄田脩新会長は、年の功は抜群、頭脳明晰、謹厳

実直、想像力豊かな方でありまふので、この難局を打開していただけるものと確信いたしております。どうぞ、会員の皆様におかれましては引き続き積極的なご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにりましたが、この六月にお浄土に旅立たれました谷田君代様始め役員の皆様には、実に献身的に会の運営等にご尽力くださいましたことに対し心から感謝とお礼を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



笹森親音



門信徒会総会



法話会の調声



除幕式を終え田中先生、深見先生と



宴会の立役者

昌平寺門信徒会へのお誘い

昌平寺 昌平寺門信徒会
所沢市旭町22-8
電話 04-2994-8887
(昌平寺)

ご挨拶

昌平寺住職 遠山久敬
昌平寺門信徒会会長 縄田 脩

昌平寺門信徒会は、昌平寺の門徒で御同朋のご縁を求めて集り、平成八年六月九日に発足した会です。お陰様で、平成二十八年に二十周年を迎え、本堂の西に開基住職・小畑俊哲師の胸像を建立しました。また、二十年の歩みを「昌平寺門信徒会創立二十周年記念誌」にまとめ発行し、発足から二十年の歩みをお寺の行事とともに記録にとどめました。

この会の目的は規約にあります。初代会長故川崎秀雄氏が発足のご挨拶として「ひとりの門信徒としてのお寺に対する思いを門信徒会を通じて表していきたい」、そして、「門徒、門信徒会、お寺との交流（ご縁）を深めて行きたい」と遺されました。

門信徒会は、寺・門信徒相互のご縁を深めるために、

- ① 年次総会
- ② 一泊研修バス旅行
- ③ 定例法話会・茶話会
- ④ 写経の会
- ⑤ 忘年のつどい
- ⑥ 春まつり・お茶席
- ⑦ 年三回発行『大悲』編集
- ⑧ その他寺諸行事へ参加・手伝

等の活動を行っています。

これらの活動には、原則として門信徒の方ほどなたでもご参加いただけます。しかし、これらの行事はすべて、会員にお届けしています『大悲』を通じてお知らせしておりますので、門信徒会会員以外の方には、昌平寺の門信徒であっても、お知らせする手段がありません。

この度、出来るだけ多くのご同朋とのご縁を求め、その輪を拡げたいと考え、昌平寺門信徒会へのご案内する次第です。

ご縁のある昌平寺に、その護持発展を目指す為に、門信徒同士のご縁を更に深めて行こうではありませんか。

また、先祖伝来という絆から外れた都市という環境の中で新しい昌平寺と昌平寺門信徒の関係を目指す為に、あなたの力を貸していただけませんか。会費は、発足以来、年千五百円です。入会金は不要です。入会を希望される方は、右上の昌平寺事務所又は昌平寺門信徒会までご連絡ください。

一泊研修バス旅行



昌平寺の研修バス旅行は、平成6年から毎年行われている門信徒の親睦を図る主要なイベントで、毎回住職・坊守が参加されます。

大型バスは朝、お寺を出発、途中各地の名所を巡りながら、目的の浄土真宗にご縁のあるお寺を訪れ、讃仏偈を読誦し、訪問先のご



住職の御法話をご聴聞します。

夜は温泉で寛ぎ、宴会場に全員が集まり、カラオケなどを交えながら交流を深めております。さらに、ここだけでは納まらず部屋で二次会など、和やかなムードです。

帰途はまた名所を巡り、お土産を買い、車内ではビンゴゲームに興じながら、昌平寺に戻り、解散とします。

写真は、平成29年秋、富士吉田・正福寺、石和温泉、山梨リアモーターカー見学センターでのスナップです。

「門信徒会 入会のお誘い」のチラシを作りました。チラシは2頁でカラー印刷です。

上記は、その一頁の上部の部分です。“ご挨拶”としてチラシを作った主旨を遠山住職と連名で載せました。

これまで、「入会案内」は『大悲』の記事として掲載しましたが、今回別刷りにして、お寺の定例行事（例えば盂蘭盆会）などの時に配布する、昌平寺の案内資料に同封する、僧侶による個別の法要の際の勧誘・案内の資料にするなど、幅広く昌平寺のご門徒の皆様への入会勧誘を目的としています。

門信徒会会員の皆様におかれましては、主旨にご理解を頂き、会員拡大活動にご協力をお願い致します。

チラシは、寺務所の前にも置いてあります。また、ご希望があればお送りします。

ゆつくりウォーキング

初夏の智光山公園からサイボクハム

縄田 脩

今年度のゆつくりウォーキング

は、新緑の森を楽しもうと言う
ことで智光山公園を選びました。

五月十二日、狭山市駅に九時
参加者十二名が集合、皆さん元
気に駅西口からバスに乗り込み、
智光山公園に向かいました。智
光山公園は武蔵野の自然を残し
た公園で、新緑は特に美しく、
水辺も有り、丁度この日はバラ



フェスタの初日でした。

公園に着くと新緑の緑の光が
降り注ぐ木の下で、浅上会長の
挨拶を頂き、全員で恒例の準備
体操を行いました。



歩き始めるとすぐモニユメン
ト広場があり、花壇には色とり
どりの花が咲いていて、ここで
全員の写真を撮りました。

子供動物園の所から始まる木
道は園内を流れる川に沿って作
られ、フェンス越しに動物園の
フラミンゴを楽しみ、カルガモ
がいたり、黄菖蒲が咲いている
など、疲れを感じさせない楽し
い道でした。

キャンプ場、広場と進み、ひ
ようたん池の畔で休憩。会長の
ハーモニカの伴奏で全員で合唱
新緑の疎林で声を揃えて歌うの
は実に楽しいものです。



更に林間を進み、木蔭で一
早いお弁当を食べました。

写真がカラーでないのが残
念ですが、トピックスの写真で
想像してください。

後半は、今を盛りとに咲いた
バラ園を楽しみ、近くのサイボ
クハムで解散としました。

サイボクハムの売店で買い物
をして、バス停に並んでいます
と皆さんもそれぞれ買いたいの袋
を提げて集まって来られ、結局
は同じバスで狭山市駅に向かい
ました。

今回のウォーキングには、太
田さんご夫妻、水野さんご夫妻
がお元気に参加されました。
これからもますますお元気に
ご参加下さい。



楽しいお知らせ

□ 秋の「一泊研修旅行」

皆様方が楽しみにされている昌平寺門信徒会秋の一泊二日研修旅行は新潟に決まりました。今年も四十五人乗り大型バスを使って親鸞聖人の旧跡を訪ね夜は、岩室温泉で寛ぎます。

★旅行日・平成三十年十月九日

(火) ～ 十月十日(水)

★集合場所・日時・昌平寺

・七時三十分

(出発八時 帰着翌日十七時)

★宿泊先・新潟県新潟市西蒲区

岩室温泉五八一

「めんめん亭わたや」

☎〇二五六―八二―〇〇〇一

★参加費 三〇、〇〇〇円

★コース

(一日目) 所沢ICから関越・上信越・北陸道・上越ICを経て「上越市鱒や」で昼食、本願寺国府別院―居多ヶ浜記念堂―良寛記念館―岩室温泉到着十七時

★申込締め切り

九月二十日(木)

今号同封の申し込み用ハガキに必要事項を記入の上、お申し込み下さい。

※参加申込受付後に「参加費用

の振込用紙」を送付いたしますので、手数料ご負担の上、

十月四日(木)までにお振込み下さい。

み下さい。

★担当者

香月(携帯090-8439-1003)

小山(電話041-2993-3695)

電話申し込み可

北陸の旧跡について

☆研修先① 本願寺国府別院

親鸞聖人は三十五歳のとき、

宗教活動の弾圧によりに京都

から越後に配流され、還俗させられたので、自らの名を

「愚禿」と号した。国府は恵

信尼の故郷で結婚生活をした

場所として知られる。千二百

十一年流罪赦免になるが源空(法然上人)が京都で没したことを知り、なお越後にとどまる。千二百十四年妻子を伴

つて関東に赴きこの後二十年

常陸・下野を中心に東国の地

で布教する。

☆研修先② 居多ヶ浜

京都から配流の身となった親

鸞は富山県の小野浦を出発し、

居多ヶ浜にたどり着いた。現

在は親鸞上陸の地を示す石標

があり、さらに八角堂の見真

堂と付属研修館が建っている。

参考図書・花山勝友著

『浄土真宗』大法輪閣

☆研修先③ 西福寺開山堂

室町後期に開かれた曹洞宗の

お寺であるが、開山堂は江戸

時代末期に建てられた。幕末

の名匠石川雲蝶の彫刻・絵画

・漆喰細工の数々が施されて

いることで知られ、特に堂内

の天井全面の大彫刻『道元禪

師猛虎調伏の図』は透かし彫

りの繊細さと極彩色の鮮やか

さで有名である。雲蝶の作品

は新潟県文化財に指定されており、その見事さから「越後日光開山堂」ともよばれている。

□ 忘年のつどい

★日時

平成三十年十二月六日(木)

十一時三十分～十四時三十分

★場所 昌平寺別館

★参加費 2,000円

★申込締切 十一月二十日(火)

今号同封の申込用ハガキに記

入の上、お申込み下さい。

皆様とともに年納めのひと

きを過ぎ、抽選会や余興等で

大いに楽しみたいと思います。

奮ってご参加ください。

なお、参加費は当日受付で申

し受けます。

つれづれ

仏教讃歌レッスン

昌平寺ホームページでも紹介されていますが、「仏教讃歌」のレッスンは7月から行われています。

今まで二度ほど昌平寺門信徒会の茶話会（毎月第三火曜日十三時〜十四時）の折りに行ったことがありましたが、お寺が一つの行事として取り上げて下さいました。

お寺では毎月十五日・十六日に親鸞さまの月忌法要が行われています。「仏教讃歌レッスン」は、十五日の速夜法要終了後の十七時〜十八時に行われます。講師は門信徒会会員のソプラノ歌手（二期会会員）、築地本願寺合唱団楽友会指揮者太田文子氏、伴奏は同会伴奏者、昌平寺エレクトーン奏者菱池琢真氏です。

音楽法要でよく歌われる仏讃

歌二十四曲の歌集をテキストに使用します。

柔軟体操・発声練習を終えてレッスン開始です。メロディを追うことに気を取られるうちにピアノシモ・フォルテシモ等の記号を見落とすと即、先生の厳しいチェックが入ります。

時に笑いの出る楽しい指導に、一時間があつという間に過ぎていきます。回を重ね、馴染みになかった曲が心の中に染み込んでいく喜びを感じます。

ご興味のある方々多くのご参加をお待ちしています。



谷田君代さんを偲ぶ

四年間門信徒会役員として常に明るくご協力いただきました谷田君代さんが、六月二十一日腹膜ガンのためお浄土に旅立たれました。四月八日の「春まつり」にはとてもお元気でお茶席での接待にお勤めでした。

「ゆつくりウォーキング」は三月十日の下見を一緒に、五月十二日の本番をそれは楽しみにしておいででしたのに、お具合を悪くされて参加がままありませんでした。

六月に入ってから日は追うごとに容態が悪化され、お別れの日を迎えてしまいました。折りある毎に身を惜しまずのご協力を下さいましたことに、唯々感謝しお念仏を申し上げたいと思います。

釋芳照信女

（谷田君代さんの法名）

南無阿弥陀仏

南無阿弥陀仏 合掌

書写（写経）の会

書写の会は、平成二十八年十二月に第一回、平成三十年十二月で第九回を迎えます。

この書写は、筆ペンを使い、書くことによって理解が深まります。

テキストは読み下し・現代語訳・解説付きの真宗入門書です。文字を書くことは、読む場合より速度が遅くなるので、それだけで味わいも深まります。

第三火曜日（年四回）

十時〜十二時

テキスト

正信偈 五百円

讃仏偈・重誓偈 五百円

御文章 六百円

入会随時

場所…和室（椅子席）

書道講師は門信徒会役員

香月榮爾（璽石）

筆ペンをご用意下さい。



平成三十年六月二十四日

深見けん二選

闇夜から浮かぶ山裾螢川

浅上 勝敏

夏帽子押さへ見上ぐる天守閣

浅上 寿子

緑さす書院にほのと檜の香

新井 雪江

紫陽花に埋もれし隣家老い独り

池田新八郎

あをあをと香を放ちたる茅の輪かな

緒方 初子

麦稈帽ずらり並びし足湯かな

香月えいじ

緑蔭に眠るみどり子乳母車

木谷 英子

紫陽花に音なく雨や友思ふ

木下 尊子

遠くより大きく振りて夏帽子

久保田よしみ

夏木蔭けやき通りの古本屋

小泉 洋一

菜園の花一巡り梅雨の蝶

芝 高子

ドア蔭に掛け忘れたる夏帽子

志摩 角美

一木の緑蔭に憩ひけり

鈴木すぐる

緑蔭に日の斑の動く大師像

鈴木 征子

鰐広の麦稈帽で買物に

高橋 敏子

鰐広で若やく傘寿夏帽子

永井 潮

緑蔭に佇ちて更なる鳥の声

永岡美砂子

店内の灯を透かす古簾

縄田をさむ

緑蔭にしばらく話し別れけり

福田 敏子

霧積の宿に忘れし夏帽子

馬越やす子

もみの木の緑蔭をこそ恃み住み

深見けん二

昌平寺俳句会御案内

毎月第四火曜日
締切 十時
場所 本館和室
句数 七句

どなたでもご参加いただけます。

まずお寺へ

皆様方は、御家庭の仏壇の延長線に朝に夕にお手を合わせていらつしゃいますね。

本堂は家庭の仏壇の延長線にあるものです。俱に心のよりどころとしてお気軽にお参りください。昌平寺は皆様のお寺です。お葬儀の相談、お墓、仏塔の購入、お遺骨の一時預かり、ご法要の相談、ご仏壇の購入、ご本尊入仏慶讃法要等々仏事の事なら何なりと迷わずにご相談ください。また、昌平寺では、年一度皆様方にお送りしております年間行事表、大悲の冒頭にも掲載してありますように年間を通して十回の仏行事があります。ご家族お揃いでお参りください。本願寺でも有名な先生方をお招きしての御講演、定例法話会もありますので、ご聴聞ください。更に月例門信徒会によるお楽しみ茶話会、昌平寺春祭り、年一回ですが門信徒会の研修親睦

旅行等の行事もあります。

ご参加ください。お待ちしております。

最近、テレビ、新聞、週刊誌等で話題になっております葬儀において、納得のいかない請求が多々発生し、トラブルとなる場合がございます。見受けられるようです。

葬儀業者の当初の見積り金額、ネット等で調べた金額と大幅に請求金額が違うこともあると聞いております。

やり直しのきかない葬儀ですから各自が細かい部分まで十分にご確認され納得されたうえに契約いただければと存じます。

お葬儀の契約についての苦情の増加は、葬祭業の営業に許認可制がなく新規参入がしやすいという背景があるほか、突然訪れる身内の不幸に動転して、業者のペースで契約してしまうことが多いようです。

こうしたことから、ご葬儀は出来るだけご本人が生前中にご家族と話し合いの上、お葬儀の予

算、ご参加者予定人数・お知らせする方々の住所、氏名、ご家庭の宗派、遺影のお写真、斎場等についてご家族と相談してあらかじめきめておくことご安心いただけると存じます。

お葬儀については、まず昌平寺にご相談ください。信頼できる葬祭業者をご紹介させていただきます。

当昌平寺では葬祭斎場二ヶ所、法事本堂二ヶ所を備え、ロビー、駐車場も整備してご来寺のお客様に不便のないよう努めております。

預骨室のご利用、墓地については、墓苑をお持ちでない方に、当寺では仏塔（永代供養付き合同墓所）、また残りは少なくともありますが、墓地のご用意もありませんし、その間のお預かりも出来ませんのでご利用ください。なお、当昌平寺では、従来どおり門信徒の方々にご奇進をお願いすることは一切ございませんのでご安心ください。

台掌

編集後記

大悲六十一号をお届けいたします。

大阪府北部地震と西日本豪雨災害は各地に甚大な被害をもたらしました。また、最高気温四一・一度という記録的猛暑に襲われて熱中症にかかり亡くなられた方もあります。犠牲になられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、六月の総会で縄田脩会長が新しく選任されました。昌平寺門信徒役員は現在七名ですが、今後も力を合わせてお寺の護持発展に努めてまいります。

この秋の一泊研修旅行では越後で配流生活を送られた親鸞聖人の御苦労とその後の御生涯をしのびたいと思います。一人でも多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

栄爾

Topics

合同慰霊祭



春季彼岸会



春まつり音楽法要 太田文子先生



春まつり お茶席の柴山衆議院議員



智光山公園散歩



春まつり



智光山公園 バラ園



誕生仏礼拝

